

令和元年度 第1回 市川市中小企業制度融資審議会 会議録

1. 日 時 令和元年 10 月 28 日(月) 午後 2 時から午後 3 時まで
2. 場 所 仮本庁舎 4 階 第 1 委員会室
3. 出席者 ◎委 員
谷口会長・中村副会長・中山委員・青山委員・遠藤委員・田中委員 計 6 名
○事務局
川島部長・立場次長・青田課長・阿部主幹・佐久間副主幹・寺田主任・竹上主事

4. 会議の概要

【午後 2 時開会】

市川市中小企業融資制度審議会の会長を務めていた委員が令和元年 5 月 22 日付で委員を辞任されたことに伴い、新たな会長を選出するまで、「市川市中小企業資金融資及び利子補給条例」第 16 条第 3 項の規定に基づき、副会長である中村委員が会長を代理して審議会の冒頭を進行

中村副会長 それでは会長を代理いたしまして、僭越ではございますが進行を務めさせていただきます。何卒よろしくお願い申し上げます。

只今より令和元年度第 1 回市川市中小企業融資制度審議会を開催いたします。本日は 6 名の委員全員が出席されております。市川市中小企業資金融資及び利子補給条例第 17 条第 2 項の規定により委員の半数以上が出席しておりますので、本会議は成立しております。

また、会議は公開することが原則とされており、本日の議題はいずれも非公開情報に該当する事項がないことから、公開とさせていただきます。

賛成の方は、恐れ入りますが挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

中村副会長 ありがとうございます。ご異議がないようですので、会議は公開とさせていただきます。傍聴人の方はいらっしゃいますか？

事務局 傍聴人はいらっしゃいません。お願いいたします。

中村副会長 ありがとうございます。ただいま傍聴人の方はいらっしゃらないとのことでございます。なお、本日の会議につきまして、議事録署名人を決定したいと思います。事務局から何かございますか。

事務局 議事録署名人として、「青山委員」と「田中委員」にお願いしたいと思
います。

中村副会長 只今事務局から議事録署名人として「青山委員」と「田中委員」とありま
したが、いかがでしょうか。

(異議なし)

中村副会長 ありがとうございます。それでは、会議次第 議題 1「会長・副会長の選
出について」に基づき、会長・副会長を選出いたします。

会長・副会長の選出については、「市川市中小企業資金融資及び利子補給
条例」の第 16 条第 1 項では、審議会に会長及び副会長を置き、委員のうち
から互選することとなっております。自薦、指名推薦どちらでもよろしいか
と思いますが、皆様いかがでしょうか。

(遠藤委員 挙手)

遠藤委員 私は、前会長と同様に、学識経験者がよろしいかと思しますので、千葉県
税理士会に所属の谷口委員を推薦したいと思います。

中村副会長 他に推薦される方はいらっしゃいますか？

(他に推薦なし)

中村副会長 いらっしゃらないようですので、ただいま、ご推薦がありましたように会
長を谷口委員にお願いすることで皆様よろしいでしょうか？

(全員異議なし)

中村副会長 ありがとうございます。ここで谷口委員に席をお移りいただきたいと思
います。

(谷口会長 席移動)

中村副会長 それでは、谷口会長の方から一言ご挨拶をお願いいたします。

谷口会長 前会長を務めておりました引野税理士の任期を継ぐような形で委員をお
引き受けすることになりました。突然の会長職で、不慣れなこともあり、少
し戸惑ってはおりますがどうぞよろしくお願いたします。

中小企業の傍らで長年税理士をしておりまして、この融資制度を利用した方の現場に立ち会っておりますので、そのような経験を活かしてこの制度について協力していきたいと思っております。よろしく願いいたします。

中村副会長 ありがとうございます。会長が決まりましたので、ここからは会長に進行をお譲りしたいと思います。よろしく願い申し上げます。

谷口会長 それではここからの進行を務めさせていただきます。何卒よろしく願いいたします。

会議次第に基づきまして、議題2の「平成30年度 融資実績」について、まず資料2-①について事務局より説明をお願いしたいと存じます

(事務局概要説明)

谷口会長 只今事務局より、資料2-①の「融資制度の仕組みと事業の概略」についての説明がございましたが、何かご意見ご質問がある方はお願いいたします。

(全員意見、質問等無し)

谷口会長 私は、融資制度が「預託金」と「利子補給」という2つの制度から成り立っているということを初めて知ることになりました。説明していただいて皆様お分かりかと存じますが、いかがでしょうか。

(全員意見、質問等無し)

谷口会長 それではご質問がないようですので、引き続き、議題2「平成30年度 融資実績について」事務局よりご説明をお願いいたします。

(事務局概要説明)

谷口会長 意見・質問はございますか。

(全員意見、質問等無し)

谷口会長 それでは、引き続き、議題3「令和元年度融資状況について」こちらの説明をお願いいたします。

(事務局概要説明)

谷口会長 只今事務局より、議題3「令和元年度融資状況について」の資料説明がございました。何かご意見・ご質問のある方はお願いいたします。

(全員意見、質問等無し)

谷口会長 これを拝見しますと、今年4月から8月までですが、やはり特徴的なのは卸売・小売・飲食業、それからサービス業、この辺りの件数が増えているように思えますが、中小企業者の融資ニーズについて金融機関さんの方では近況としていかがでしょうか。

田中委員 中小企業や個人商店ですと、事業承継などで悩んでいる人が多いのかなという気がします。

谷口会長 千葉銀行さんはいかがでしょう。

遠藤委員 昨年・今年の実績を見ると小口の案件が増えている中で、当行でも地元の商店、個人事業主からの相談窓口での相談案件は、確かに飲食業やサービス業は多いかなという気はします。

谷口会長 これは消費税の増税が関係しているのでしょうか。

遠藤委員 消費税のアップによる駆け込み的なものは実感として全然なく、一部建築関係等で先行してというのはあったような気はしますが、消費税が上がるからということ、それに備えて資金を調達するというのは殆どなかったのではないかと思います。

中山委員 一点いいのでしょうか。「資金種類×融資金額 比較」で一番下の1,500万超～2,000万円以内が前年度は無く、今年度は2件あって3,800万となっていますが、これはどういう目的で使っているのでしょうか。

事務局 1件は鉄鋼業関連での2,000万円の融資申込みで、年商約1億1千万円の事業者が運転資金として、月商の2～3ヵ月程度を必要とする融資であります。

もう1件は大工工事業関連での1,800万円の融資申込みで、恒常的な受注が予想されるため、先行支払いに備えての手元資金を必要とする融資であります。

谷口会長 ご意見が他にないようでしたら、引き続きまして議題4の方に進めさせていただいてよろしいでしょうか。それでは、議題4の「市川市中小企業融資制度に係る利率・利子補給率等の運用について」事務局よりご説明をお願い

します。

(事務局概要説明)

谷口会長　　只今、事務局より「市川市中小企業融資制度に係る利率・利子補給率等の運用について」、平成20年から令和元年までのデータとともにグラフで分かりやすくご説明いただいたかと思えます。この資料につきまして何かご意見、ご質問のある方がいらっしゃいましたらお願いいたします。

(全員意見、質問等無し)

谷口会長　　グラフで拝見すると結構印象的なものがございますが、グラフ3に「中小企業の業況判断指数」がございまして、令和元年度の消費税10%を踏まえて製造業がぐっと景況感が悪くなっているかのように思えますけれども、商工会議所さんでは、事業者の消費税対策の取組みはどのようなものを把握しておりますか。

中村副会長　　元々は、消費税が上がるというなかなか上がらなかったことが何年か続いておりまして、今回も本当に上がるのかと事業者の中で懐疑的に捉えていたようです。

例えばレジ補助など国の施策が種々ありましたが、今すぐ導入すべきかどうか迷いの部分があったような気がします。それで、実際上がるとなって、事業者が慌ててレジ補助を受けようとなり、レジの在庫がなくなってしまったということがあったように思われます。

谷口会長　　政府の説明もどちらかというと軽減税率やキャッシュレスポイントだとか、そちらの広報の方が多かったように思えます。

中村副会長　　事業者の方が真剣に消費税対策に乗り出すのは少し遅かったのかなと、少なくとも中小企業に関してはそういうことがあったのかなと感じます。

谷口会長　　景況感としては、田中委員はいかがでしょう。消費税の増税を巡って何か顕著な動きはありますでしょうか。

田中委員　　特にはそういう感じはなかったです。

谷口会長　　消費税対策の事業者の反応は、今回鈍いような気がしますけれども、遠藤委員はいかがでしょう。

遠藤委員 確かに消費税の増税に対する対策は、どのようにすべきかを悩んでいる事業者も多いと思いますが、消費税の増税という点では、融資の相談を含めて特に表に出てきていないという気がします。

事業者はいずれの業種も人手が足りず、一方でコストが上昇していることもあって、利益率は下がっている状況です。そのため、消費税の2%の増税以上にそちらの方が気になっていることが推測されます。

青山委員 グラフ3を見ると、非製造業の方は、中小企業業況判断指数は結構上がっていますが、製造業は下がっておりません。普通であれば、消費税が上がっているのだから非製造業の方が下がってしまうところ、何故製造業の方が下がっているかという理由について、銀行の方では何かありますか。

遠藤委員 取引先のケースを見ていると、やはり人件費の部分と、運賃を含めたコストは過去に比べると負担として大きくなっているかと思います。会社によっては仕事があるけれど人手が足りないという状態で、なかなか循環が上手くいってないようなところもあれば、逆に仕事があるということで順調に業績を残している会社もあるといったところです。

製造業では、発注から納品まで多くの時間を要する機械関係やプラットフォーム関係を扱っているメーカーは先の見通しが立ちにくく、受注が少し落ちていると感じる会社もあります。

青山委員 一般的に考えると、非製造業の方は消費税が上がっているので、業況判断指数の数値が下がってくると思いますが、人件費に関しては製造業も非製造業もそこまで差はないですね。

遠藤委員 人件費のコストの負担増は、製造業・非製造業のどちらにも見られると思います。

製造業の方は、人件費のコスト増があっても受注の増加があれば、コスト増の影響を抑えられます。しかし、人件費のコスト増に加えて、先行きが不透明の要素により受注に影響を受けている場合は、景況感に表れているのではと推測されます。

青山委員 小売業の方がコンビニエンスストアなど、人が足りないと言われていますが、それはいかがでしょうか。

谷口会長 非製造業の人手不足は確かに言われておりますが、製造業においても最低賃金が年々上がってきているというのは結構効いていると思います。

青山委員 非製造業も最低賃金は一緒ですね。今は1,000円くらいですか。

谷口会長 都内でしたらそうです。

青山委員 分かりました。初歩的なことになりますが、市の融資制度の貸出金利は固定金利ですか、それとも長期プライムレートによって変動するのですか。

事務局 利率については、固定金利ですが、その都度情勢が変わりまして利率が大きく変動した場合は審議会にて皆様からご意見をいただいて、変更するという形になります。

青山委員 長期金利や固定金利は結構大幅に下がる時がありますからね。市制度の貸出期間は最高で5年間ですか。

事務局 市制度は最高で10年ですが、10年の利用は利用件数がかなり少ない一部の資金に限られるため、利用件数がある程度実績のあるものの貸出期間の最高は7年になります。

青山委員 分かりました。結構長く借りられますね。利率はその都度変えていくということですね。

事務局 はい。中小企業融資制度審議会にて、ご意見をいただく形になります。

青山委員 下げ止めた方がいいですよ。

事務局 そうですね。長期プライムレートがどうなるかによりますが、今はかなり下げ基調になっていると感じております。

谷口会長 変更された利率というのは、新規貸出から適用されるということでしょうか。

事務局 はい。そのとおりです。

谷口会長 ありがとうございます。それでは他にご意見はないでしょうか。ないようでしたら次の議題5「その他」について進めて参ります。事務局よりご説明をお願いいたします。

事務局 次回、令和元年度第2回審議会の開催予定をお伝えさせていただきます。次回の第2回審議会につきましては、年明けの来年1月の中旬から下旬を予定しておりまして、改めて委員の皆さまには事務局の方からご連絡を差し上げますので、調整等をお願いしたいと思います。以上です。

谷口会長　　以上で本日の議題を全て終了いたしました。本日は委員の皆様には様々な意見を賜り、誠にありがとうございました。委員の皆様から頂戴しました貴重なご意見は次回の審議会までに事務局で十分ご検討いただきたいと思います。

それでは、これもちまして令和元年度第1回市川市中小企業融資制度審議会を閉会いたします。